

総合的な学習の時間 《第1学年》

(1) 生き方・進路の探求『自分発見』【12時間】

自分自身の特徴を見つけることができる。

月	時間	学習活動	指導内容	身に付く力
4	1 ・ 2	・パーソナルポートフォリオのねらいと流れを理解する。 ・パーソナルポートフォリオに入れるものをイメージする。	・ねらい、流れの説明。 ・小学校時代から学習したこと、活動したこと(写真、賞状、認定書など)、自分の特徴を示すものを具体的に思い浮かべ、ファイルさせる	意欲 自己評価力 自己肯定力
	3 ・ 4	・今の自分を表現し、自分自身を意識する。 ・自分では気づかない自分の良さをお互いに見出し合う。	・今の自分の良いところを表現し、今の自分を意識させる。 ・自分の得意とするところや良いところを書き出させる。 ・友だちのよいところを見つけ合ってカードに書き、交換させる。	自己肯定力 共同作業力
	5 ・ 6	・自分の良さや持ち味から「得意」を探し出す。 ・自分の得意なものについて、その秘訣をうまく伝える。	・自分の得意とすることには、こんな秘訣があるんだ、こんなことがきっかけとなって今も頑張ってるなど自分の魅力に気づかせる。 ・自分の発表内容を友達にうまく伝えるためのアイデアを書かせる。	自己肯定力 話す力 表現力
5	7 ・ 8 ・ 9 ・ 10	・プレゼンテーション	・ともだちの発表からなるほどと思ったこと、参考になったことを記入させる。 ・発表を聞いて気づいた友だちの良さや自分に役に立ったことをカードに記入し、交換させる。	話す力 表現力 コミュニケーション力 相互評価力
	11 ・ 12	・各クラス代表プレゼンテーション ・将来の自分像をえがく。	・各クラスの代表2名を選出し、発表をさせる。その後、参考になったことを記入させる。 ・自分の考え方や気持ちの持ち方、行動を変えることで将来の目標をより具体化させる。	意欲 自己肯定力 実践力

(2) 教科の枠をこえた課題解決『情報・地域』【18時間】

コンピューター等を活用し、目的に応じて情報を正しく選択したり活用したりすること、情報の受信・発信時も基本的なルールを守ることなど、情報活用の実践力などを身につける。

月	時間	学習活動	指導内容	身に付く力
5	1 ・ 2	・オリエンテーション ・情報を入手し、活用するための計画を立てる。	・「手に入れたい情報は何か」、「何のためにそれは必要なのか」行き先で起こり得る困ったことへの対応策や解決策を考え、シートに記入させる。	意欲 計画力
	3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・	学習計画を立てる ・時間の計画について ・グループ編成について ・ポスターセッションについて	・「地域の一押しスポット、地域に貢献している人」の紹介を考えさせる。 ・時間の計画、発表の方法、チーム編成。 ・ポスターセッションの手法を学ばせる。	課題設定力 計画力
6	7 ・ 8	・収集した情報をまとめる。	・「地域の一押しスポット、地域に貢献している人」の情報を収集しまとめさせる。	情報収集力 情報活用力
	9 ・ 10	・ポスターを制作する。	・「地域の一押しスポット、地域に貢献している人」を紹介するポスターを制作させる。	共同活動力 情報機器活用力
7	11 ・ 12	・ポスターを制作する。	・「地域の一押しスポット、地域に貢献している人」を紹介するポスターを制作させる。	情報収集力 情報活用力 共同活動力 情報機器活用力
	13 ・ 14	・プレゼンテーションの準備と練習	・プレゼンテーションの目的を確認する。 ・成功の秘訣を考えさせる。	共同活動力
8	15 ・ 16	チーム別『プレゼンテーション』	・「地域の一押しスポット、地域に貢献している人」をポスターセッションにより発表させる。 ・発表でよかったことや参考になったこと(内容・方法など)をシートにまとめる。	話す力 表現力 コミュニケーション力 自己評価力
	17 ・ 18	・身に付いた力の確認	・「成長」について考えさせ、チームで自分たちの成長に気付かせる。 ・ポートフォリオシートにこれまでの学習の成果をまとめさせる。	自己評価力 自己肯定力

(3) 教科の枠をこえた課題解決『情報・地域』【40時間】

地域に視点をあて「誰もが暮らしやすい福山の街づくり」についてプロジェクト学習を通して学ぶことで、主体的に学習に取り組み、身を守るための正しい知識と自分で考え行動できる力を身に付ける。

月	時間	学 習 活 動	指 導 内 容	身に付く力
9	1 2	・プロジェクト学習をするねらいと流れを理解する。	・「誰もが暮らしやすい福山の街づくり」のために、どんなことが必要か考えさせ、地域の課題を身近なものとしてとらえ『誰もが暮らしやすい福山の街づくりの提案書』を作成し、広く広報活動を行う。	意欲 課題発見力 社会への参画力
	3 4	・プロジェクト学習全体のテーマとゴールを決める。	・テーマが現在の社会にどう役立つか、その効果を考えさせ、取組みの意義を明確にした上でゴールを決定させ、「テーマとゴール」を記入させる。 ・学習進行の日付と各学習過程で身に付ける力をシートに記入させる。	課題発見力 課題設定力 計画力
	5 6	・チームの提案を考える。 ・「ゴール」達成への戦略を立てる。	・「チームの提案」を決定させる。 ・「チームの提案」とその理由を記入させる。 ・これからすべき仕事やその方法を出し合いまとめさせる。	計画力 コミュニケーション力 共同活動力
	7 8	・工程表を作成する。 ・企画書を作成する。	・日時、仕事内容、役割分担を記入し、効果的に活動できる方法を考えさせる。 ・活動の目的が一目で伝わる「企画書」を作成させる。	課題設定力 計画力
	9 10	・情報リサーチの基本をつかむ。	・確かな情報を見極め入手させるための基本を身に付けさせる。 ・「手に入れたい情報は何か」「何のためにそれは必要なのか」行き先で起こり得る問題や困ったことへの対応策や解決策をイメージし、シートにまとめさせる。	計画力
	10 11	11 ～ 14	・情報リサーチ ・「誰もが暮らしやすい福山の街づくり」提案書を作る。	・「テーマ」「調査の動機」「調査結果」「考察」「結論」「提案内容」を整理しまとめさせる。
15 ～ 20		・「誰もが暮らしやすい福山の街づくり」提案書を作る。	・提案書の作成 ・パソコンに入力。USBで提出させる。	課題設定力 情報処理能力 共同活動力
11	21 22	・「誰もが暮らしやすい福山の街づくり」プレゼンテーションを成功させるための秘訣を考える。	・何のためのプレゼンテーションかを確認させる。 ・「目的の確認」目的達成のために必要なことを具体的に書き出させる。	自己評価力 自己肯定力
11 ・ 12	22 ～ 32	・「制作物」を作る。	・模造紙に書き込む。 ・効果的なプレゼンテーションのために必要な制作物を準備する。	情報活用能力 共同活動力 情報機器活用能力
1	33 34	・プレゼンテーションを成功させるための秘訣を考える。 ・プレゼンコンテストの準備	・何のためのプレゼンテーションかを確認させる。 ・目的達成のために必要なことを具体的に書き出させる。 ・プレゼンコンテストに関わる諸準備をさせる。	自己評価力 自己肯定力 コミュニケーション力
	35 36	・プレゼンテーションの練習	・チーム単位で発表の練習をさせる。	表現力 話す力 コミュニケーション力
2	37 38	・プレゼンテーションコンテスト	・意志あるプレゼンテーション(活動の「意味」と「目的」をつかませ)をさせる。	活動の意欲 学ぶ力
	39 40	学習のまとめ ・プロジェクト学習で「身につく力」の確認をする。	・友だちの成長したところ、頑張った点を見つけて書かせる。 ・友だちのよさを記入したシートを交換させる。 ・プロジェクト学習で「身につく力」の表に記入させる。	自己評価力 自己肯定力